

PS 及び SM の 2023 年 12 月度および年間実績概況

(PS)

1) PS の 2023 年 12 月度の実績概況

生産は 47.7 千トニとなり、前月比+7%、前年同月比+9%となった。

国内出荷は 47.8 千トニと前月比-4%、前年同月比+4%となった。

用途別では、包装用は前月比-5%、前年同月比+4%の 21.9 千トニとなった。分野別では、乳酸菌が前月比プラス、HI シート、OPS、射出成型その他は前月比マイナスとなった。前年同月比では HI シートと射出成型その他がプラス、OPS と乳酸菌はマイナスとなった。

雑貨・産業用は前月比+4%、前年同月比+15%の 7.0 千トニとなった。

フォームスチレン用は前月比-5%、前年同月比+5%の 14.2 千トニとなった。分野別では PSP が前月比、前年同月比共にマイナス、ボードは前月比、前年同月比共にプラスとなった。

電機・工業用は前月比-7%、前年同月比-10%の 4.6 千トニとなった。分野別では、生活家電が前月比プラス、事務機器、記録メディアは前月比マイナスとなった。前年同月比では全ての分野でマイナスとなった。

輸出は 2.0 千トニとなり、前月比-28%、前年同月比では-16%となった。

出荷合計は 49.7 千トニとなり、前月比-5%、前年同月比+3%となった。

在庫は、前月比-2%、前年同月比-23%の 83.3 千トニとなった。(在庫月数 1.7 ヶ月)

2023 年 11 月の輸入は、前月比-10%、前年同月比+5%の 2.7 千トニで、1 月から 11 月の累計を年間に換算すると 39.6 千トニ相当となる見込み。

2) PS の 2023 年 年間の実績概況

2023 年年間生産量は、563.9 千トニとなり、前年比-14%であった。

国内出荷は 555.4 千トニとなり、前年比-7%となった。包装用は 258.7 千トニとなり、前年比-6%と減少、乳酸菌分野で増加するも HI シート、OPS、射出成型その他分野でマイナスとなった。雑貨・産業用は 75.2 千トニと前年比-10%となった。フォームスチレン用は 162.7 千トニとなり、前年比-5%と減少、PSP、ボード分野共に前年比でマイナスとなった。電機・工業用は 58.8 千トニで前年比-13%と減少、記録メディアのみ前年並みだった他、生活家電、事務機器は前年比マイナスとなった。

輸出は、33.5 千トニで前年比-30%となった。

出荷計では、前年比-9%の 588.9 千トニとなった。

在庫は、83.3 千トニとなった。(在庫月数 1.7 ヶ月)

2023 年の輸入は、1~11 月まで、各月で前年同月を上回っており、11 月までの累計は 36.3 千トニ、年間に換算すると 39.6 千トニに相当し、前年比+47%となる見込み。(昨年は、年間 28.1 千トニ(実績値))

2023年を振り返ると、ロシア-ウクライナや中東での紛争による原燃料・物価の高騰や中国の景気不振などが影響し2022年から継続して内需、生産共に低調に推移してきたが、コロナの5類への移行やインバウンド需要の増加で消費活動にもようやく復活の兆しが見られ、11-12月の出荷量は前年同月を上回った。

しかしながら、年間の国内出荷は、昨年比-7%の555.4千トンとなり、輸出も33.5千トンと昨年を30%下回り、結果として生産も対前年比-14%の563.9千トンとなった。また、PSの輸入も22年以降は増加傾向が見られ、これも生産を押し下げる要因となっていると思われる。

内需を用途別にみると、各用途で前年を下回っており、特に電気・工業用途、雑貨・産業用途での落ち込みが目立つ結果となった。

(SM)

1) SM の 2023 年 12 月度の実績概況

生産は前月比+7%、前年同月比+2%の 129.0 千トンとなった。

国内出荷は前月並みの 90.5 千トン、前年同月比では-6%となった。

用途別では、主力の PS 向けは前月比-20%、前年同月比+11%の 39.0 千トンとなった。EPS 向けは前月比+27%、前年同月比-7%の 8.7 千トンとなった。ABS 向けは前月比+47%、前年同月比-6%の 17.7 千トンとなった。合成ゴム向けは前月比-9%、前年同月比-33%の 8.0 千トンとなった。不飽和ポリエステル向けは前月比-14%、前年同月比+4%の 3.2 千トンとなった。

輸出は、前月比+12%、前年同月比-17%の 30.0 千トンとなった。

出荷合計は、前月比+3%、前年同月比-9%の 120.5 千トンとなった。

在庫は、前月比+15%、前年同月比-6%の 64.2 千トンとなった。(在庫月数は 0.5 ヶ月)

2) SM の 2023 年 年間の実績概況

2023 年年間生産量は、1,427.7 千トンとなり、前年比-7%となった。

国内出荷は 1,107.3 千トンと前年比-13%となった。

主力の PS 向けは 541.6 千トンと前年比-12%であった。ABS 向けは 195.2 千トンで前年比-10%、合成ゴム向けは 91.3 千トンと前年比-24%、EPS 向けは 92.7 千トンと前年比-2%、不飽和ポリエステル向けは 34.2 千トンと前年並みで合った。

輸出は 325.7 千トンとなり前年比で+7%となった。

出荷計では、前年比-9%の 1,433.0 千トンとなった。

在庫は前年比-6%の 64.2 千トンとなった。(在庫月数は 0.5 ヶ月)

2023 年全体では、生産量、内需とも低調だった 2022 年を更に下回った。上半期の輸出は昨年同様低調で推移したが、下半期はやや持ち直し年間では昨年を上回った。内需を用途別にみると、不飽和ポリエステル向け以外は、各用途で前年を下回っており、特に合成ゴム用途での落ち込みが目立つ結果となった。

(以上)